



角井 英明議員

**Q** 地球沸騰化にふさわしいせん定とは

**A** 日陰のできる樹冠を保つせん定に努める



その他の質問

- ・「8050問題」について
- ・高齢者の移動権の保障
- ・ごみの不法投棄について

**Q** 街路樹のせん定方針は。

**A** 樹冠の整正、込みすぎによる枯枝の防止などを目的とする軽せん定を基本にしている。

**Q** 地域・住民からの要望は。

**A** 落葉拾いが大変で、落葉の前にせん定してほしい。大きくなり電線類に接触して危険なのでせん定してほしい。視界を妨げている枝葉をせん定してほしいなどの要望を聞いている。

**Q** ウォーカブルなまちにふさわしい街路樹とは。

**A** まちなかをクルマ中心からヒト中心の空間へと転換し、人々が集まり、憩い、多様な活動を繰り広げることができるのがウォーカブルなまちで、そのようなまちにふさわしい街路樹とは、豊かな樹冠を形成して日陰を提供したり、美しい花や色鮮やかな葉を持ち魅力的な景観を形成するものである。



▲強せん定で枝葉を伸ばした街路樹

**Q** 地球沸騰化時代にふさわしいせん定とは。

**A** できる限り日陰を形成する樹冠を保つせん定となるよう努める。



安澤 勝議員

**Q** 鳥居本地先国道8号歩道設置進捗状況は

**A** 令和6年度着工。  
令和6年度末の完成は難しい



その他の質問

- ・彦根市指定ごみ袋の不備の責任はどこにあるのか
- ・市内の農作物の被害状況について

**Q** 議案第84号道路新設改良事業の784万1千円の詳細は。

**A** 歩道が未整備である、つるやゴルフ店付近から鳥居本町北交差点までの1,130mの区間について国が事業化されている。市道内町三ツ割線は、歩道整備事業区間に含まれる鳥居本町南交差点から中山道までの100m区間において、狭あいな道路を拡幅するもの。

**Q** 鳥居本町南交差点より南方向の進捗状況は。

**A** 用地測量、土地境界の立会い、境界確定書類への署名押印手続を概ね終え、順次用地取得が行われている。令和6年度着工予定。

**Q** 完成予定は。

**A** 公函が混乱している区間も一部あることから、想定外に時間が必要。令和6年度末の完成は難しい。具体的な完成年度は改めてお示しする。

**Q** 鳥居本町南交差点から鳥居本駅間の進捗状況は。

**A** 想定より時間を要している。



▲拡幅が進む内町三ツ割線



黒澤 茂樹議員

**Q** 令和3年からの地域運動部活動の取組状況と成果および課題は

**A** 稲枝中学校では8つの運動部全ての休日部活動の地域移行が完了した



その他の質問

- ・彦根市における農業の担い手の現状および担い手育成・確保の方策について
- ・市内の土地改良区への支援体制について

**Q** 取組の概要は。

**A** 稲枝中学校では8つの運動部全ての休日部活動の地域移行が完了した。この間、稲枝地区学校支援協議会が事業実施団体となり、地域コーディネーターが中心になり、各部活動に複数の地域指導者を配置し、平日の部活動を担当する学校の顧問の先生と連絡を密にして活動を進めていただいた。

**Q** 地域運動部活動の成果は。

**A** 専門的な指導を受けられたことにより、生徒の部活動加入率や競技力が向上した。また地域指導者として関わる方の増加、教員の超過勤務時間の減少など教員の働き方改革が進んだ。

**Q** 課題は何か。

**A** 持続可能な活動とすると共に、適切な指導を維持するため地域指導者の育成と継承および部活動の地域移行に対する正しい認識を広げることである。



▲稲枝中学校運動部活動



疋田 菜穂子議員

**Q** グリーンスローモビリティは観光以外での活用は検討しているか

**A** 現段階では観光以外での活用は考えていない



その他の質問

- ・「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業について

**Q** グリーンスローモビリティ事業の目的は。

**A** 主に彦根城周辺での交通課題の解決、具体的には観光客の周遊性の向上を目的としている。

**Q** グリーンスローモビリティ導入による懸念点は。

**A** 彦根駅～彦根城地域においては、周辺交通への影響は少なかったが、彦根城周辺以外では一般車両と比較して速度が異なることによる渋滞発生等が懸念される。

**Q** コスト面での懸念は。

**A** 社会実験に用いた車両は一台当たりが3,000万円程度と高額であること。このほかに運転手の人件費や保険料がかかることが懸念される。

**Q** 観光以外での活用は検討しているか。

**A** 上記のような特性を持つ車両であることから、全市的な取組に活用することは困難であり、現段階では考えていない。



▲グリーンスローモビリティ





戸崎 克司議員

**Q** 妊娠、出産、育児と子育てに関する支援でガイドブック等はあるのか

**A** 子育ての情報を集約した『子育てガイドブック』を毎年発行している



その他の質問

- ・彦根城への観光客案内の分散化について
- ・彦根城に生息するシラサギ、カワウの対策について

**Q** 出産後の新生児訪問は。

**A** 新生児訪問は、「伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体型実施事業」の開始に伴い、生後4か月までの間に全家庭に訪問し、保護者と面談することが必要となったことから、同事業と併せて実施する。

**Q** 家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」の特徴は。

**A** 友人のように気持ちを受け止めて話を聴き、親と一緒に家事や育児を協働しながら過ごす伴走型の支援を行い、子育て家庭の支援に寄与されていると認識している。

**Q** 「ホームスタート」における支援推進事業や、国交付金や市町村の補助金の活用は。

**A** 国、県の動向を注視しながら検討を行うとともに、行政と地域が協働して子育て世代の支援に当たる体制づくりに努めていく。



▲彦根市の子育てガイドブック



和田 一繁議員

**Q** ひこね市長公式YouTubeチャンネル配信から見えた効果とは

**A** 幅広い世代の方に、彦根への関心を高めている



その他の質問

- ・彦根市中期財政計画について
- ・11月補正予算文化財保護事業について

**Q** ひこね市長公式YouTubeチャンネル配信から見えた効果とは。

**A** 「市政情報」や「彦根の魅力発信につながる市内の話題」など市長自らの言葉で、分かりやすく伝えることにより、市内外を問わず幅広い世代の方に、彦根への関心を高めている。

**Q** より多くの方に見てもらうための具体的な工夫とは。

**A** ホームページのトップページにおいて、「ひこねしちよーCH」のバナーを表示して、そこから誘導するとともに、「広報ひこね」においても、市長自らの言葉で、市政情報を分かりやすく伝えることを目的に令和6年1月号から「市長コラム」の掲載をスタートさせる。そこから「ひこねしちよーCH」へQRコードを通じて誘導していくことでより多くの市民の方にご視聴いただけるように取り組んでいく。



▲「ひこねしちよーCH」QRコード